



【生涯学習フロア】

くわしくはホームページ・ポスター・チラシなどをご覧ください。

福井ライフ・アカデミー（聴講は、ひとつからでもお気軽に）

一健康な心と体で豊かな暮らし一

（福井ライフ・アカデミー現代的課題講座「生命健康」）

【第3回】11月3日（土）13:30～15:00

「地域に“寄りそ医”20年
～地域住民と診療所医師の強くて温かい絆の物語～」

講師：自治医科大学地域医療学 臨床教授

おおい町名田庄診療所 所長 中村 伸一氏

医師が一人だけの診療所で様々な壁にぶつかりながら、保険、医療、福祉の連携を実現。地域の人々と支えあう“絆”について著書やドラマで語りつくせなかった実話も含め語る。



【第4回】11月10日（土）13:30～15:00

「現代の食と健康」

講師：放送大学生活健康科学プログラム

教授 小城 勝相氏

現代日本における食の問題とその背景を科学的に説明する。特に生活習慣病の原因である酸化ストレス、動脈硬化、メタボリックシンドロームについて説明する。



【第5回】11月24日（土）13:30～15:00

「元気な心で元気な毎日
～こころのリフレッシュ法～」

講師：こころ元気研究所 所長 鎌田 敏氏

心のあり方だけでなく、心の健康にとって一番大切な豊かな人間関係について、そして心と体の健康についていつでもどこでも出来る、簡単健康法について語る。

白川文字学を学ぼう 一漢字の世界のおもしろさ一

（福井ライフ・アカデミー漢字文化講座）

福井県全体の小学生が学習している「白川文字学」。みなさんもこの機会に学んでみませんか？

【第1回】11月11日（日）13:30～15:00

白川静先生の学問形成

講師：立命館大学 教授 芳村 弘道氏

【第2回】11月25日（日）13:30～15:00

白川静先生の古典文学研究

講師：立命館大学 教授 荻原 正樹氏

【第3回】12月9日（日）13:30～15:00

白川静先生の文字学研究

講師：立命館大学白川静記念

東洋文字文化研究所 客員研究員

高島 敏夫氏



友愛塾

要申込・材料費必要

☆11月18日（日）

講座No.7 季節の花あそび
～フラワーアレンジメント～

☆11月25日（日）

講座No.10 ココロもカラダもハッピーに！
香りの魔法アロマテラピー講座

開館日カレンダー

11月	日	月	火	水	木	金	土
	・	・	・	・	1	2	3*
	4*	5	6	7	8	9	10*
	11*	12	13	14	15	16	17*
	18*	19	20	21	22	23*	24*
	25*	26	27	28	29	30	・

12月	日	月	火	水	木	金	土
	・	・	・	・	・	・	1*
	2*	3	4	5	6	7	8*
	9*	10	11	12	13	14	15*
	16*	17	18	19	20	21	22*
	23*	24*	25	26	27	28*	29
	30*	31	・	・	・	・	・

■：休館日 □：図書フロア（2階）のみ閉館

☆祝日は開館します。（9:00～18:00）

11月3日（木：文化の日）・11月23日（金：勤労感謝の日）・12月23日（日：天皇誕生日）

12月24（振替休日）☆12月28日（金）は、臨時開館日です。（9:00～18:00）

火～金 9:00～19:00

*土・日・祝日

*臨時開館日 9:00～18:00

【図書フロア】



若狭図書学習センターだより

若狭路 平成24年11月号

2階 一般コーナー

介護について考える(本の特集)

11月11日は「介護の日」。今回の特集では高齢者の食事やリハビリテーション、介護入門書、住宅住み替えなど、“介護”に関連する様々な書籍を集めました。

期間 10月27日(土)～11月21日(水)

2階 子どもコーナー

読んでみよう物語(本の特集)

読書週間にちなみ、読み物の特集をします。今回は探偵物を特集します。名探偵が活躍したり犬や猫が謎解きしたりする、ハラハラドキドキの物語をぜひ楽しんでください。

期間 10月26日(金)～11月21日(水)

1階 エントランスホール

ミニ展示「源氏物語の世界」

源氏物語絵巻など源氏物語に関連した本を展示します。

期間 10月23日(火)～11月30日(金)



図書館の便利な利用法



県立図書館・若狭図書学習センターの図書をインターネットで予約できます

インターネットで予約し、当センターまたは最寄の市町立図書館で受け取ることができます。

「インターネット予約」を利用するには、事前に登録が必要です。登録方法や予約方法、図書の受け取り・返却等については、カウンターでご確認ください。

(登録申込みは、カウンターの他、郵送も可能です。)

「読書週間」(10/27～11/9)

昭和22年、終戦の2年後、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社や書店、公共図書館などが力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもとに、第1回「読書週間」が開催されました。

それから60年以上が過ぎ、「読書週間」は国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民」の国となりました。その一方、物質生活の豊かさに比べ精神生活の低迷が問題視されている昨今、論理的思考の基礎となる読書の重要性は、ますます高まっています。

「読書週間」が、読書への関心を高め、読書習慣の確立の契機となることを願います。
読書推進協議会「読書週間より」